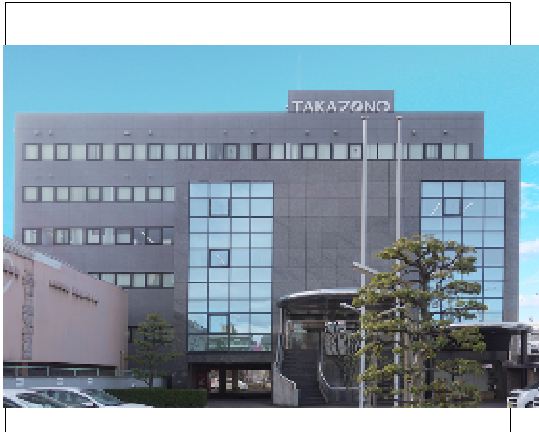


株式会社タカゾノ



事業概要	医療機器・医療システムの企画・開発・製造・販売
所在地	大阪府門真市柳田町4番17号
電話番号	06-6903-2000
URL	https://www.takazono.co.jp/
代表者名	佐藤 要
設立	1963年8月7日
資本金	70百万円
従業員数	837万円
売上高	22,500百万円(令和7年3月期)

(1)経営理念又は代表者メッセージ

世界の多くの国々で医療機器産業やヘルスケア(健康の維持・増進)を未来戦略として推進する動きがあります。そのような中、我が国はどの国よりもいち早く少子高齢化の波を受け、健康寿命の延伸を政策の中心に掲げ、その対策に取り組んでいます。

私たちは、テクノロジーやインテリジェンスを駆使し、企画・開発・製造・販売・メンテナンスすべてを担うことで医療従事者や患者さまのお役に立つことを目指しています。

私たちと一緒に課題解決に向け、意義ある魅力ある未来を創造しませんか。



(2)技術・製品(事業)の特長

①技術(事業)内容

タカゾノは、医療機器・医療システムの企画・開発・製造・販売を行っている企業です。特に、調剤機器やシステムに強みを持ち、医療機関や調剤薬局の業務効率化と安全性向上に貢献しています。



▶ Eser ES-M130J4(錠剤監査支援装置付き)



▶ Rak-Che 6



②技術の用途と機能

タカゾノは、創業以来60年にわたり、医療機器や医療システムの開発・製造・販売を通じて、医療現場の課題解決に貢献してきました。培ってきた技術は、調剤業務の効率化、薬剤師の負担軽減、そして患者の安全確保といった多岐にわたる用途で活用されています。

1. 調剤業務の効率化と自動化

タカゾノの技術の中核をなすのは、調剤業務を効率化し、自動化するためのさまざまな機器やシステムです。散剤・錠剤の分包・包装技術は、医師が処方した散剤(粉薬)や錠剤を、患者さまごとに正確な量に分割し、包装する作業を自動化します。

●散剤分包機

多種多様な散剤(粉薬)を、正確な重量で計量し、個別に分包します。これにより、従来、手作業で行われていた調剤作業の時間を大幅に短縮し、計量ミスリスクを低減させます。

●錠剤包装機

錠剤を自動で取り出し、処方された錠数ごとに包装します。一部の機種では、錠剤監査支援装置を搭載し、錠剤の種類や色、形状などを識別することで、誤った錠剤の包装を防ぐ機能も備えています。

2. 医療システムの開発による安全性向上

タカゾノは、ハードウェアだけでなく、ソフトウェアによる医療システムの開発にも注力しており、薬剤師の業務を支援し、医療安全を高める機能を提供しています。

●調剤監査支援システム

処方箋の内容をチェックし、薬剤師の監査業務を支援します。

処方チェックシステムは、医師の処方箋に基づいて、薬剤の重複投与、禁忌薬、アレルギー情報、投与量などをシステムが自動でチェックします。これにより、ヒューマンエラーによる誤薬のリスクを低減させ、患者さまの安全を守ります。

●薬剤情報システム・病棟業務支援システム

薬剤に関する情報を管理し、医療現場での情報共有や薬剤業務を円滑にします。

薬剤情報システムは、医薬品のデータベースを構築・管理し、薬剤師が患者さまの服薬指導や情報提供を行う際に必要な情報を提供します。

病棟業務支援システムは、病院の病棟における薬剤管理や投与計画などを支援し、医療スタッフ間の情報連携をスムーズにします。

3. 医療機器の製造・販売

調剤機器だけでなく、より広範な医療機器の製造・販売も行っています。

●滅菌器

手術器具や医療用具などを滅菌し、院内感染を防止します。

高温蒸気滅菌(オートクレーブ)などの方式により、病原菌やウイルスを死滅させ、衛生的な状態を保ちます。

●クリーンベンチ

無菌的な操作が必要な作業(無菌調剤など)を行うための環境を提供します。

フィルターを通して清浄化された空気を供給し、作業空間を清浄に保ちます。

これらの技術は、単に業務を効率化するだけでなく、医療現場でのヒューマンエラーを激減させることに貢献し、社会全体の医療安全の向上に寄与しています。

バーチャルショールームでは、

展示している製品の設置イメージやプロモーション動画などをご覧いただけます。

製品はカテゴリ別に展示されています。バーチャルショールームはこちらから→



③特徴・強み

創業から60年、タカゾノは分包機において、業界トップクラスのシェアを獲得しています。分包機は、お客さまのニーズにあわせて錠剤や粉薬などさまざまな形状のお薬を個別に包装することで手作業で行われていた調剤作業の時間を大幅に短縮し、計数計量ミスなどのリスクを低減することができます。また、調剤監査支援システムは、薬剤の重複投与、禁忌薬、アレルギー情報、投与量などをシステムが自動でチェックし、ヒューマンエラーによる誤薬のリスクを低減させ、患者の安全を守ります。

時代のニーズに合った製品開発と分包機のパイオニアとして高い技術力で医療現場の効率化と安全性向上に貢献しています。特に、自動化技術により、調剤業務の効率化と省力化を目指した製品開発とサービスを提供しています。

創業以来、「健やかさの追求と未来の創造」を理念に掲げるタカゾノは、これからも技術革新を通じて、より快適で安全な医療環境の実現を目指しています。